

ふくしま教育ニュース

特集

福島県地域学校活性化推進構想

2019年7月 第52号 編集・発行 福島県教育委員会

平成31年度(令和元年度)から

チャレンジ! 子どもがふみだす体験活動応援事業 がスタートしました。

東日本大震災の経験を踏まえ、子どもたちが充実した自然体験活動や主体的に復興に寄与する社会体験活動を実際に体験することで、心身ともに健康で豊かな人間性を育むことを目的とし、以下の事業に補助しています。

事業1 「ふくしまの心」を育む 自然体験応援事業

随時
募集中

- (1)小中学校等の宿泊を伴う自然体験活動
- (2)保育所・幼稚園等の体力向上等を目的とした自然体験活動
- (3)小中学生を対象とした社会教育団体(子ども会、スポーツ少年団、児童クラブ等)の長期宿泊型(4泊5日以上)自然体験活動



カヌー体験!

活動の一例

- 登山
- フィールドアスレチック
- キャンプファイヤー
- オリエンテーリング
- カヌー
- スノーシューハイキング
- スキー

福島県社会教育課 チャレンジ!

検索

【問い合わせ先】 福島県教育庁社会教育課 ☎024-521-7799

事業2 「ふくしまの未来」へつなぐ 体験応援事業

ぜひ、ご応募
ください!

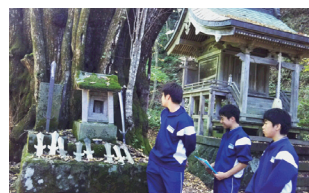
- (1)ふくしまの元気を届ける体験事業
- (2)ふくしまの今を発信体験事業
- (3)ふくしまを創る起業体験事業

現在、避難者との交流体験、修学旅行や総合的な学習の時間の郷土学習、地元の特産物を生かした新商品づくりなどさまざまな活動が展開されています。

8月には、高校生を対象とした「商品開発」の研修会を郡山市で開催します。(学校単位での事前申込が必要です。)ふるってご参加ください!



MIDETTEでの販売体験



中学生による観光ガイド

平成31年4月 ふたば未来学園中学校が開校しました!

4月8日、ふたば未来学園中学校が広野町に開校し、新たな学び舎で併設型中高一貫教育がスタートしました。

開校式は、ふたば未来学園中学校・高等学校の入学式と合わせて行われ、鈴木教育長の式辞の後、渡辺復興大臣、内堀知事らから祝辞をいただきました。

今後は中高一貫教育の中で、身近な地域を学習フィールドにした探究活動、グローバル・スタディ科による実践的英語力育成、哲学対話・熟議を通しての思考力育成など、「変革者たれ」の建学の精神に基づいた特色ある教育を実践し、県内外、そして世界に向けて大きな夢や希望をもって羽ばたく人材の育成に努力してまいります。



教育長式辞



知事祝辞



新入生誓いの言葉

① 地域に根ざした学校運営

学校運営への地域の意向の反映や地域住民の参画、学校経営・運営ビジョンの地域との共有、地域との連携によるチームとしての学校の体制強化などにより、地域に根ざした学校の運営の実現を目指します。

1 学校評議員制度の活用

学校評議員制度…校長の求めに応じて学校運営に意見を述べる学校評議員を委嘱する制度

2 コミュニティ・スクールの導入促進

コミュニティ・スクール…保護者や地域住民等を委員とする学校運営協議会を設置する学校

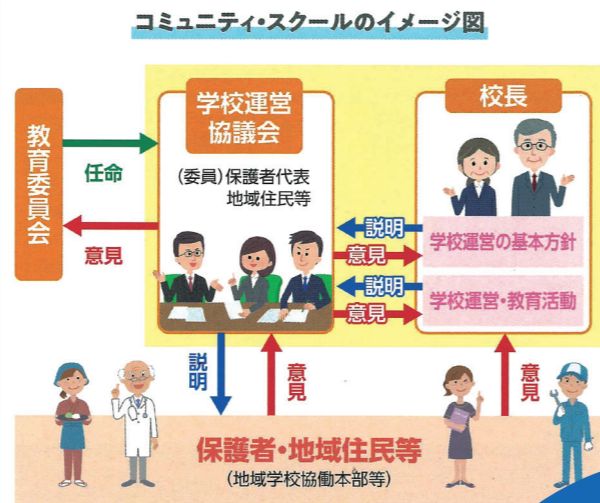
3 学校を核とした地域との連携



「県立学校コミュニティ・スクール推進事業」講演会(湖南高校2019年4月)



沼沢湖水祭りに参加する川口高校生(金山町)



③ 地域の課題解決に向けた創造的復興教育

主に県立高等学校において、生徒の課題解決能力はもとより、郷土愛や復興に貢献する志を育むため、地域そのものを学びのフィールドとした探究活動を実施するとともに、地域との連携による学校の特色化を図ります。

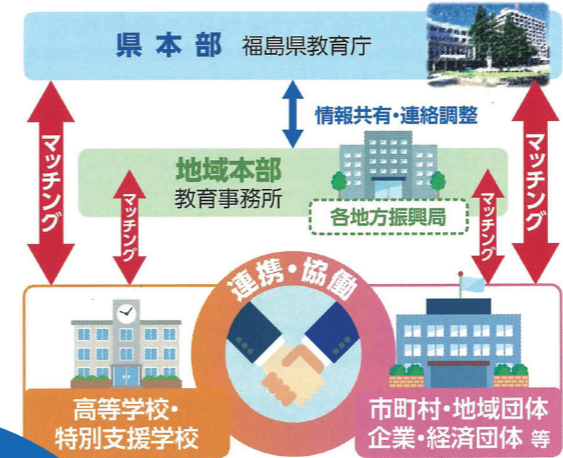
1 地域課題探究活動の推進

地域課題探究活動…地域課題等をテーマに各学校において行う課題解決型学習

2 地域との連携による県立高等学校の特色化

3 福島県地域学校協働本部によるマッチング

福島県地域学校協働本部によるマッチングのイメージ図



地域課題探究活動[金属網かごゴミステーション製作]の様子(小高産業技術高校)



ボランティアと連携した田植えの様子

福島県地域学校活性化推進構想

(2019年2月 福島県教育委員会策定)

地域が学校や子どもを支援する従来の関係から、学校も地域に貢献する強固な協力関係へ、地域づくりと一体となった社会総がかりによる教育の実現を目指します。

② 地域と学校の協働活動

地域が学校を支援するという一方の関係だけではなく、学校も地域の活動に参加するなど地域に貢献することにより、地域と学校の強固なパートナーシップを構築しながら、互いに連携・協働する活動を推進します。

1 地域学校協働活動の推進

2 地域コーディネーターの機能充実

3 地域連携担当教職員の任命



家庭教育相談室「こころのアオアシ」(西会津町)



地域と学校の連携・協働のために 福島県 地域と学校 [検索](#)



④ 地域で共に学び、共に生きる特別支援教育

共生社会の実現に向け、地域と学校の連携を進め、障がいのある子どもたちが就学前から卒業後まで切れ目なく地域で共に学び、共に生きることのできる特別支援教育の充実を図ります。

1 インクルーシブ教育システムの推進

※インクルーシブ教育システム…障がいのある子どもとない子どもが、可能な限り同じ場で共に学ぶ仕組み

2 地域支援センターによる切れ目のない支援

※地域支援センター…支援が必要な子どもの相談体制の充実に向け、全ての県立特別支援学校に設置したセンター

3 地域との連携による自立と社会参加の促進

地域で共に学び、共に生きる特別支援教育のイメージ図



就学前親子教室の様子(郡山支援学校地域支援センター)



特別支援学校作業技能大会の様子(ビッグパレットふくしま2018年7月)

福島県地域学校活性化推進構想の進める体制

「福島県地域学校活性化推進構想」推進会議
構想の理念を共有し、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら構想を推進するため、教育委員会を始めとする地域の多様な関係機関の代表者が、構想の推進に向けた意見交換等を行うための組織

地域と学校の活性化推進会議
構想の進捗状況の確認や構想の推進のための意見交換等を行うための会議

福島県地域学校活性化推進構想 [検索](#)

「ふくしまっ子ごはんコンテスト」

～自分の朝食や食習慣を見直してみませんか～

献立の作成や食材の準備、調理等、ごはんを主食とした一連の食事作りを通して、生活習慣の改善や朝食摂取を基本とした望ましい食習慣の形成を図るとともに、自ら健全な食生活を実践する力(食べる力)の育成と、米を中心とした日本型食生活や地場産物について関心を高めることを目的に実施します。小学生は朝食作り、中学生は弁当作りを実践する機会として、みなさんのアイデアあふれる献立を応募してください。

- ◆ **応募期間** 令和元年7月1日(月)～8月29日(木)
- ◆ **最終実技審査** 令和元年10月13日(日) 福島県学校給食会(福島市松川町)
- ◆ **応募先** 各教育事務所学校教育課まで

福島県健康教育課 ※詳しくは学校を通してお知らせします。



平成30年度小学校上学年の部 最優秀賞作品
「福島の伝統料理!夏バテ予防のカラフルご飯」



平成30年度中学校の部 最優秀賞作品
「まるまる岩瀬きゅうり弁当」

令和元年度中学生・高校生の科学・技術研究論文「野口英世賞」募集

科学する心の育成を図り、明日の社会の発展を担う優れた人材を育成するため、科学及び技術に関するテーマに基づく研究論文を募集します。

令和元年度中学生・高校生の国際理解・国際交流論文「朝河貫一賞」募集

国際性豊かな人材の育成を目指して、国際社会における在り方・生き方等についての論文を募集します。

- ◆ **募集対象** 県内の中学校(含む中等部)・高等学校(含む高等部)の生徒
※中学校には、義務教育学校後期課程を含みます。
- ◆ **募集期間** 令和元年9月2日(月)～9月10日(火)(必着)

福島県義務教育課

福島県高校教育課

企画展 時を測る - 縄文・弥生時代の年代 -

まほろんでは、炭化物が付着した縄文土器・弥生土器の検討を、5か年にわたって実施してきました。この企画展では、分析を実施した160点の土器をすべて展示し、炭化物に基づく年代測定結果と、土器で調理された食材の傾向を公開します。

開催期間 令和元年6月15日(土)～8月25日(日)
場所 福島県文化財センター白河館(まほろん)
休館日 毎週月曜日(国民の祝日の場合はその翌日)
入場 無料 **開館時間** 9:30～17:00

まほろん



浪江町田子平遺跡出土土器(縄文早期)

「LINEで相談しませんか？」

県教育委員会では、LINEを活用した相談窓口『ふくしま子どもLINE相談』を開設しています。LINEで、児童生徒のみなさんの不安や悩みを、臨床心理士等の資格を持っている専門家に相談することができます。

対象 県内公立学校の児童生徒 **相談受付** 毎日17:00～21:00

相談方法 LINEのトーク画面で相談
学校から配付されたチラシに載っているQRコードを読み取る ⇒
友だち登録 ⇒ 今年度のパスワードを入力する ⇒ 相談開始

※相談内容によっては専門機関と情報を共有することがあります。



平成30年度に友だち登録をしている人も、今年度の相談の最初に1回だけ、パスワードを入力してください。パスワードは配付チラシに載っています。

相談窓口のお知らせ

いじめ、不登校、体罰などの様々なお悩みに対する相談窓口を開設しています。一人で悩まず、お電話ください。悩みを抱えているお子さんや保護者の方々が対象です。

〈いじめ問題や不登校、体罰などの教育相談電話〉月～金 10:00～17:00

「ダイヤルSOS」 **0120-453-141**

〈子どものための24時間電話相談〉24時間いつでも電話できます。

「ふくしま24時間子どもSOS」 **0120-916-024**

※県教育委員会ではHP等の掲載広告を募集しています。詳しくは

ここから下の段は広告です。掲載の広告は県教育委員会の事業とは関係ありません。

こども1型

月掛金 **1,000円**

お申し込みは **0歳～満17歳の健康なお子様**
保障期間は **0歳～18歳まで**

入院は
1日目から保障

1日当たり **5,000円**

ケガの通院も
1日目から保障

1日当たり **2,000円**

第三者への
損害賠償

1事故につき
支払限度 **100万円**
(1,000円は自己負担)

その他にも **がん診断、手術、先進医療、後遺障害、死亡、契約者の死亡も保障。**

ここでは制度の概要を記載しています。くわしい保障内容については県民共済までお問い合わせください。

助けあいの心から生まれた保障

県民共済

お問い合わせと資料のご請求は

共済取扱団体 **福島県民共済生活協同組合**
〒960-8031 福島市栄町6-6 NBFユニクスビル9F

0120-282-869

FAX 024(524)1400 **福島県民共済**

【受付時間】平日 9:00～17:00
共済元受団体/厚生労働省認可 全国生活協同組合連合会